



ナマズが大暴れする前に、早く！ 政府は「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)で、「2020年までに非耐震化住宅を5%以内」とする目標を打ち出しました。この目標値は、遅々として進まない住宅の耐震化を見ると現実的ではないという指摘があります。実際、数十万戸の目標を掲げながら、10年間でその数%しか達成されていない県もあります。想定される大地震を考慮すると、この停滞がもたらす結果は歴然としています。哲学と理念、制度と運用、技術と手法、果たすべき職能と役割が問われており、目標実現のために、各界各人の総力の結集が、緊急に求められています。



鯰絵(なまずえ)について
鯰絵は、海溝型大地震が頻発した江戸安政期に大流行しました。不安を煽るとして幕府によって禁制されましたが、瓦版や大津絵などで広く普及しました。ナマズは地中の微震鳴動や地電流の異常を感知する魚といわれますが、揺れる大地に住む日本人は、泥中に潜むナマズが騒ぎ出す事象を神話や説話にすることで、地震予知を逞しくしたのでしょう。

「“木の家”耐震改修推進会議」が発足しました。



「木の家」耐震改修推進会議
議長 養老孟司
(東京大学名誉教授)

平成22年9月1日「木の家」耐震改修推進会議」発会式が東京国際フォーラムにおいて開催されました。発会式では、菅直人総理大臣からメッセージを寄せられ、また前原誠司国土交通大臣(前)・皆川芳嗣林野庁長官からご挨拶をいただきました。この日は87年前(1923年)に起こった関東大震災を忘れないための「防災の日」でもありました。推進会議の活動は、日本政府が打ち出した「新成長戦略」=2020年までに住宅の耐震化率95%以上にという目標達成を推進すること。二つ目に、危機を伝えられる工務店・設計士・林業の仕事(雇用の保持・創出)を生むこと。三つ目に、「山」と「町」の繋がりをつよめて、安心・安全・健康な「木の家」をつくり、広めることです。推進会議は、この旗振り役を務め、主として提言・普及啓発・情報収集の活動を行います。そして、草の根的な地域版「木の家」耐震改修推進会議」の結成を促し、地域の地震防災をはじめとして、実効性の高い取り組みを推進します。

登録(ボード)メンバーになっていただけませんか。

推進会議は、登録(ボード)メンバーによる資金提供によって条件づけられます。登録者は、①2011年1月17日に開催される「大勉強会 in 神戸」に参加できます。②公式ホームページ内の「ボードメンバーズ会議」にアクセスできます。③「耐震化95登録パッチ」が貰えます。

「推進会議への登録」と「大勉強会 in 神戸への参加」をご希望される方へ

「推進会議への登録」と「大勉強会 in 神戸への参加」をご希望される方は、下記事項をご確認・ご記入の上、登録(ボードメンバー)にお申し込みください。登録費は、一人10,000円(消費税込・振込手数料は自己負担)とし、登録有効期間は、2010年12月1日～2012年1月31日とします。

“木の家”耐震改修「大勉強会 in 神戸」

【日時】2011年1月17日(月) 9:00～17:00 【会場】神戸国際会議場 【定員】700名(+中継会場300名)

*定員を超えた場合は、同会場に中継(全体会)会場を設けます。分科会へはご参加いただけます。

*分科会は登録順にて、第1希望→第2希望→その他となりますので、お早めにお申込みください。

“木の家”耐震改修推進会議 登録申込書

年 月 日

御社名			
御名前 (ふりがな)	e-mail		
御住所 〒			
電話	fax		
神戸大勉強会	<input type="checkbox"/> 参加する ⇒⇒⇒⇒⇒ <input type="checkbox"/> 参加しない	参加希望分科会	*希望分科会の番号をご記入ください。 第1希望/() 第2希望/()

【お申込み方法】 登録申込書にご記入(登録者1名様につき1枚)の上、以下まで faxいただくとともに、下記銀行口座に、登録費(10,000円・振込手数料はご負担ください)をお振込みください。入金の確認をもって登録受付とさせていただきます(後ほど、ご案内を送付させていただきます)。

〈登録費/振込先〉静岡銀行 富塚支店 普通 0480887 ぴお

登録申込書送付先/ぴお

fax. 053-476-1313

(お問い合わせ窓口) ぴお 〒432-8002 静岡県浜松市中区富塚町2282-17 tel.053-476-1300 fax.053-476-1313 e-mail t95@bionet.jp

公式ホームページ t95.jp



「なまずだいじ」てんしょう天正地震に魂消たたまげ秀吉が、伏見城築城に際し、家来に送った書状に出てくる言葉とされる。

なまず(地震)だいじ

鯰、大事。

“木の家”耐震改修

1月17日(月)

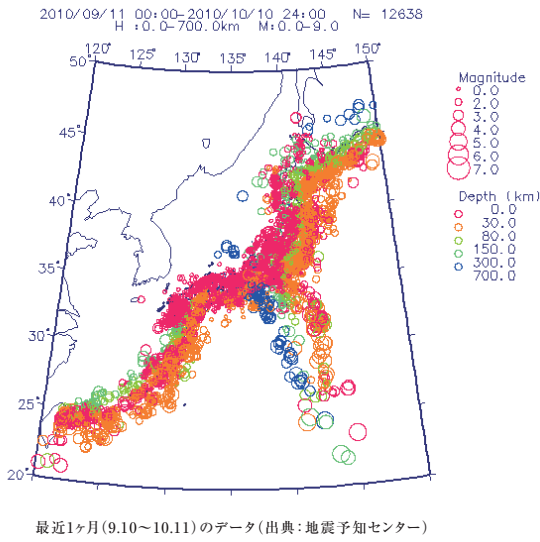
大勉強会 in 神戸

阪神淡路大震災から16年目(神戸国際会議場)

“木の家”耐震改修推進会議

私たちは地震列島の住人です。

海底に〈ひずみエネルギー〉が溜まり、
国土の隅々に〈活断層〉が走っています。
今、日本列島のどこで大地震が起こっても、
不思議ではありません。



世界の地殻エネルギーの10分の1が日本に集まっています。4つの海溝プレート境界に〈ひずみエネルギー〉が蓄積され、活断層が活動期に入り、海溝・内陸型共に刻一刻と大地震の可能性が高まっています。今後、M8クラスの巨大地震は、30～50年の間に4～5回起こると予測され、M7クラスは、その数倍起こると予測されています。今まで大地震がなかった地域だからといって安心できません。地震学者は、その分「ストレスを溜めているのだから、そのストレスを一挙に解消する可能性を否定できない」といいます。

- 599年 記録に残る最初の大地震(大和国) M7～
- 1586年 秀吉が経験した天正地震 M7.8～8.1
- 1707年 史上最大の地震・宝永地震 M8.4～8.7
- 1891年 内陸型地震の典型・濃尾地震 M8.0
- 1896年 津波被害が大きい三陸地震 M8.2～8.5
- 1923年 史上最大の震災・関東地震 M7.9
- 1995年 最近の大地震・兵庫県南部地震 M7.3

「過去の記録はまた将来の予言となる」
寺田寅彦(1878～1935)

14分間の真実。

神戸の監察医の調査によれば、
阪神淡路大震災における
死亡者の92%は、
地震直後14分間に生じた
建物倒壊による、
圧死・窒息死などでした。



防災対策でイメージされるものは何でしょうか？
頭に浮かぶのは、水と乾パンなど非常食や防災グッズ、それから救助隊(自衛隊・消防隊)、救助犬etc…。しかし、監察医が調査した結果、阪神淡路大震災における神戸市内の死亡者の92%は、地震直後の14分間に自宅で亡くなっています。この事実は、大地震の防災対策が、先ず何をしておいても、建物の倒壊を防ぐ、住宅の耐震化にあることを教えていないのでしょうか？

阪神大震災の日時別死者数
(神戸市内の監察医検案分「阪神淡路大震災誌」より)
1月17日(6時まで/2221人(92%)、12時まで/63人、24時まで/12人、時刻不詳/110人) 1月18日/5人 1月20日以降/5人

変わらなければ生きていけない、学ばなければ見えてこない。

“木の家”耐震改修 大勉強会 in 神戸

1月17日(月) 阪神淡路大震災から16年目(神戸国際会議場)

主催=“木の家”耐震改修推進会議

議長/養老孟司(東京大学名誉教授/国交省「“木の家づくり”から林業再生を考える委員会」委員長) 議長代理/天野礼子(作家) 企画委員長/小池一三(町の工務店ネット代表)
運営委員/田村豪勇(全国建設労働組合総連合中央執行委員長) 青木宏之(社団法人全国中小建築工事業団体連合会会長) 藤本昌也(社団法人日本建築士会連合会会長)
並木瑛夫(社団法人全国木材組合連合会会長) 豆原義重(国産材製材協会会長) 梅野博之(全国森林組合連合会代表理事専務)
事務局長/徳本 茂(全国建設労働組合総連合中央執行委員・住宅対策部長) 後援(予定)=国土交通省・農林水産省・内閣府・兵庫県・神戸市

午前の部	
05:00～ 〈1.17市民のつどい〉	
全体会 会場 ■ 神戸国際会議場 定員/700名(+中継会場300名)	
09:00	開会ご挨拶 養老孟司(“木の家”耐震改修推進会議議長) メッセージ 「耐震化加速元年へ」 菅 直人 内閣総理大臣 ご挨拶 馬淵澄夫 国土交通大臣(予定) 歓迎のご挨拶 矢田立郎 神戸市長
09:15～	基調講演 活動期に入った地震列島 尾池和夫(国際高等研究所所長/前・京都大学総長)
09:50～	発言2011 木の文化と環境防災デザイン都市 ●発言 震災から16年、改めて「木の文化」の意味と価値を問い直します 齊木崇人(神戸芸術工科大学学長・神戸市統括監) 五十嵐敬喜(法政大学教授) ●事例を通じて 藤本昌也(建築家/現代計画研究所代表・日本建築士会連合会会長)
10:50～	映像で見る阪神淡路大震災
11:00～	“耐震改修”応援団と協賛企業のご紹介(映像)
11:10～	〈木の家・木のデザイン〉 事例① 大阪・豊崎長屋 (2010年日本建築学会教育賞を受賞) 大阪市を中心部に残っていた大正時代の長屋4棟15戸を再生したプロジェクト 報告:竹原義二(建築家/大阪市立大学教授)
	豊崎長屋: 大阪市立大学 竹原・小池研究室
	事例② 「森林・林業再生の出口」としてのマンション・リノベーションの可能性 歴史を持つ吉野林業の再生プロジェクトの一つ 中古マンションのリノベーション術 報告:益子義弘(建築家/東京藝術大学名誉教授)

12:00～ 昼食	

午後の部	
テーマ別分科会 会場 ■ 神戸国際会議場 (各分科会会場)	
13:00～16:15	
分科会1	地域の地震防災 耐震化95%のアクション・プログラムを検討する ① いかにしたら住宅耐震化は進むのか？ — 各地域からの実践報告 ② 各地の報告をもとにした講義を交えたパネルディスカッション 講義:地震防災地図の作り方・地震のリスク回避など コメンテーター&講義:神田 順(東京大学教授)+川瀬 博(京都大学防災研究所教授) 進行&講義:森 保宏(名古屋大学教授) ③ 耐震化と在宅介護を考える 浅川澄一(日本経済新聞編集委員)
分科会2	〈耐震診断・耐震補強〉実践講座 コストパフォーマンスを突き詰めた、実践家による実践的手法をご紹介します 保坂貴司(匠建築・既存建物耐震補強研究会代表)+田口隆一(ARU田口設計工房代表)+中村利夫(常盤工業建物再生部長) 進行:村田 真(「日経アーキテクチュア」編集委員・「日経ホームビルダー」前編集長)
分科会3	【事例発表】耐震改修・そして本格改修へ 年月を経て朽ちた中古住宅を耐震化し、新築よりも素晴らしく蘇らせた数々の設計事例をもとに、設計の全体と細部・コストなどを聞き出し、知恵の共有化をはかります 講義:建築病理学と「住宅医」 三澤文子(県立岐阜森林文化アカデミー客員教授) 進行:趙 海光(ぶらん・にじゅういち代表)+半田雅俊(半田雅俊設計事務所代表)
	1. 商家改築 2. 住宅の高齢者対応改修 3. 農家の改築 4. マンションの改修
分科会4	テーマ① “木の家”耐震化と住宅業界 “木の家”耐震化の課題・問題点と展望を 住宅業界の代表などが語り合う 井上俊之(国土交通省大臣官房審議官)+田村豪勇(全国建設労働組合総連合中央執行委員長)+青木宏之(全国中小建築工事業団体連合会会長) 進行:藤澤好一(芝浦工業大学名誉教授)

テーマ② 〈“木の家”本格改修〉制度化を展望する 工務店・林業界が待望する“新マーケット”は生まれるのか？ 野辺公一(オポコード研究所所長)+酒井裕三(OKUTA取締役執行役員)+小池一三(町の工務店ネット代表) 進行:三浦祐成(新建ハウジング編集長)	
テーマ③ 大地震と分散型エネルギーを考える 小玉祐一郎(神戸芸術工科大学教授)+宿谷昌則(東京都市大学教授)+荻原幸久(EOM代表) 進行:武山 倫(プレアデザイン研究所代表)	
分科会5 「山側」と「町側」の連携をいかに進めるか？ 「森林・林業再生プラン」が動き出した 木材自給率50%を条件づける「出口」は何か？ 皆川芳嗣(林野庁長官)+梶山恵司(内閣官房国家戦略室審議官)+湯浅 勲(日吉町森林組合参事) 進行:天野礼子(“木の家づくり”から林業再生を考える委員会)委員長代理)	
全体会 会場 ■ 神戸国際会議場 定員/700名(+中継会場300名)	
16:30～ 【結語】神戸から、日本の津々浦々へ 天野礼子(「“木の家”耐震改修推進会議」議長代理)	
【2011.1.17 アピール発表】 ナマスが大暴れする前に、早く!	
●ファイナーレ 鎮魂のチェロ演奏と 震災体験手記の朗読 震災体験手記の朗読:草野満代(アナウンサー) チェロ:太田道宏(関西フィルハーモニー管弦楽団) ピアノ:革島玲奈 光によるインスタレーション・アート:郡 裕美(建築家であると共に、ニューヨーク・ベルリンなどで活躍するインスタレーション・アーティスト) 曲目/ガブリエル・フォーレ「チェロとピアノのためのエレジー」ほか	
神戸で同時期に開催されるイベント	
1月17日(月) 19:00 開演 “詩と朗読と音楽の夕べ” ※「大勉強会」終了後、「1.17メモリアルコンサート」が開かれます 出演:竹下景子(女優)ほか ◎会場=灘区民ホール5F(マリールーム) ◎前売り=2,000円/当日:2,500円(全席自由) 主催=復興支援コンサート実行委員会 お申し込み=ギャラリー・島田:tel.078-262-8058 灘区民ホール:tel.078-802-8555	
1月19日(水)～20日(木) 第4回災害対策セミナー in 神戸 ◎会場=神戸国際会議場 主催=神戸市、(財)神戸国際観光コンベンション協会、(財)神戸市防災安全公社、(財)神戸都市問題研究所 お問い合わせ=神戸市危機管理室:078-322-6487	
※諸事情により、予告なく変更する場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。	